

共有フォルダを使ったデジタル写真の共有化

藤沢中学校（実践・報告者） 大澤 堅一

1 はじめに

各学校ではサーバーを使い、情報の共有化が行われていると思われますが、本校では校務分掌による各種の文書の他にデジタル写真の共有化も行われています。このデジタル写真の共有化の実践例を紹介します。

2 本校の様子

掲示物や学級通信や学年だより、学校だよりなどを発行するとき、学校行事などの生徒の活動している写真が入ると、よりよくその内容を伝えやすくなります。

本校では、生徒の主体的な活動の一環として、生徒会の専門委員会の一つに、情報委員会を設置しています。その役割の一つが、学校行事などにおける生徒活動の様子を撮影することがあります。行事の流れをつかみながらの撮影になります。教職員が撮ったものとあわせて、その内容を吟味し、職員室のサーバーにアップロードします。必要に応じて教職員や生徒たちが活用できるようにしています。

3 共有化の作業の流れ

行事予定をもとに情報委員会で撮影を担当する生徒を決める。

学校行事の撮影。

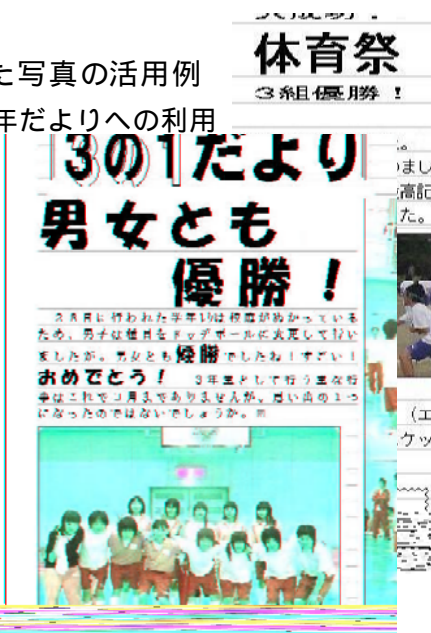
撮影内容の吟味。

撮った写真をサーバーにアップロードする。

各教師が必要に応じて写真を取り出して活用する。

4 共有化された写真の活用例

学級通信や学年だよりへの利用



冊子類への利用

掲示物への利用



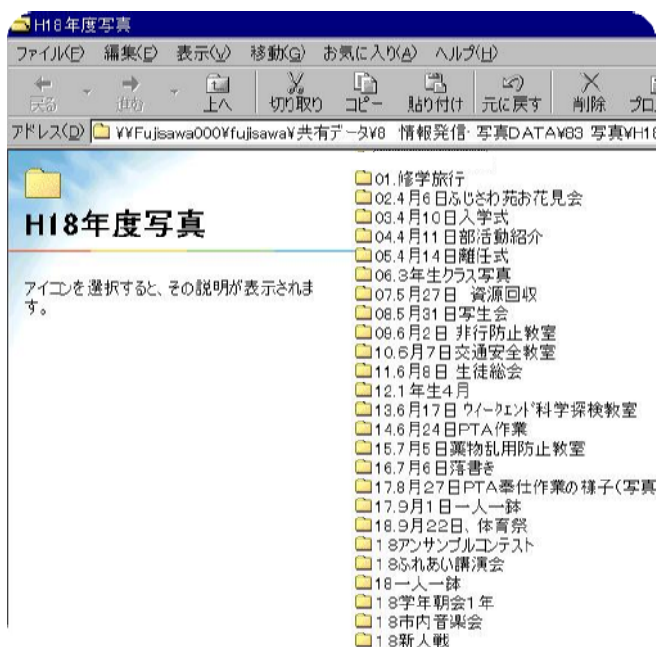
学校要覧の行事紹介ページ

生徒の活動の紹介の掲示物

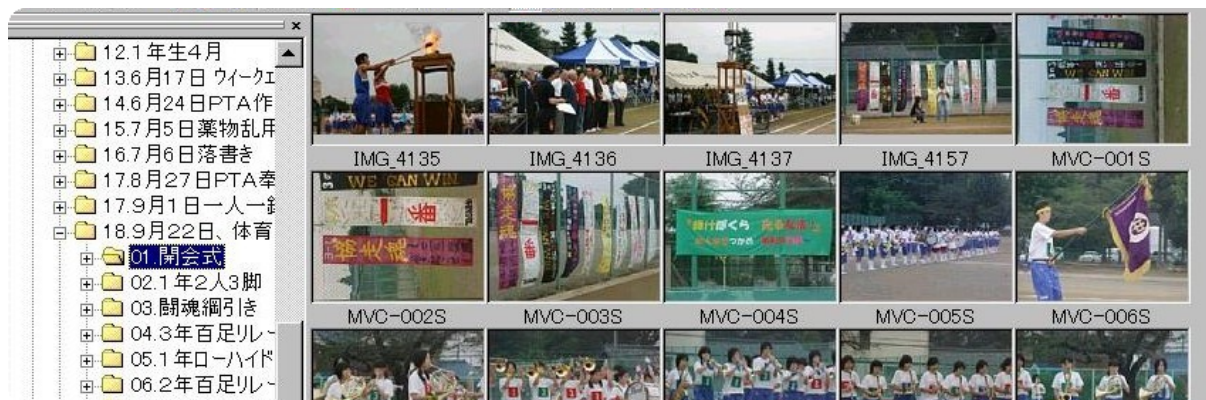
5 共有フォルダでの工夫点と今後の課題

今後の課題

- ・ 毎回アップロードするのは手間がかかる。
 - ・ 写真にタイトルを付けると探しやすいのだが、大変な手間がかかる。
 - ・ 共有フォルダを使いやすくするために、写真に限らず、2・3年に1度見直して整理・再構成する方が良い。
- フォルダの工夫
- ・ 共有フォルダから使いたい写真を見つけ出すためには写真が整理されてなくてはなりません。そこで、フォルダを作り分類してアップロードしている。
 - ・ 毎回とはいきませんが、情報委員の生徒の活動として写真のタイトル付けを行った。



日付ごとにフォルダを作り保存



写真を探すときはViXを使うと大量の写真から見つけやすい。